

今回の保護者アンケートにつきましては、全家庭数の8割強のご家庭より回答をいただきました。ありがとうございました。

《結果について》 「子どもは、楽しく学校へ行っている。」は、「大変よい・おおむねよい」が96%でした。また、「大変よい・おおむねよい」が80%を超えるものが、4項目あり、その中で「子どもが明るく元気な挨拶ができるように取り組んでいる。」が87%ありました。これは、児童会が中心となり縦割りグループで毎週水曜日の朝、挨拶活動を継続していることや、PTA・地域の方々の挨拶運動や登校指導により一定の成果があったと考えられます。また、「子ども一人一人を大切にされた教育に取り組んでいる。」「学年に応じた生命や人権に対する認識を育てる指導や心の教育を進めている。」の2項目が67%でした。どちらも教育の根幹となるものであり、真摯に受け止めきめ細かな取組を進めていきたいと考えています。

また、今回はご家庭での取組も3項目お尋ねしました。70%台が「家庭は、子どもに読書の習慣がつくよう、働きかけや---」でした。他の2項目は、80%でした。

《家庭教育についてより（抜粋）

- ・ あいさつができるようにしている。（「おはようございます」「行ってきます」「ただいま」）
- ・ 学校であったことなど、聞くようにしている。時間をみつけて、会話することを大切にしている。
- ・ 子どもの長所をほめ、自信をもたせるよう心掛けている。
- ・ 優しい心とたくましい心をもった人になれるように子どもとの話しを大切にしている。
- ・ 人の立場に立って、話ができるように、本当の勇氣とはどんなことか、機会あるごとに言っている。

ご家庭でも、様々な教えをされていることが、よくわかりました。今後も家庭と学校が車の両輪となり、子どもたちの姿を見据えた取組を推進していきたいと考えています。また、子どもたちの安全を守るため、警察や地域の方々・九条塔南子ども見守り隊の皆様と連携を強化し、安心して安全な町づくりを目指しています。九条塔南子ども見守り隊への積極的な参加をお願いします。

これからの学校として

「いじめ」問題について

「いじめ」まではいかずも「いやがらせ」も子どもは心に大きな傷を負います。目を配り、心を配るようお願いいたします。小さなSOSも聞いてください。最近の子どもたちの話を聞いていると受け入れてもらえない心をもて余した子が増えていると感じます。豊かな心を育てていくためにも肯定的に子どもたちを受け入れていただきたい。子ども1人1人の心の言葉を見抜いてほしい。いじめについての時間をとり「命の大切さ」「心の教育」を進めてほしい。など多くのお声をいただきました。

子どもの小さなSOSも聞き逃すことなく、子どもが楽しく・安心して学校生活を送れるよう教職員一丸となって教育活動に取り組んで参ります。来月（1/15～19）には、『ふれあいタイム週間』をもち、子どもたちとのスキンシップをより深めていきます。安心して学習できる学級、安心して生活できる学校を常に意識して取組を推進しています。

学校や学級の情報発信について

行事や各学年の取組など、子どもたちがどのような活動をしているか、アンケートを生かしながらわかりやすくタイムリーに、「学校だより」「地域版」「学年だより」など（インターネットのホームページ含む）で情報発信できるように工夫していきます。

「不審者に対する情報が早くなった」という声をいただきました。来年度は、塔南おやじの会のホームページが開設される予定です。今まで以上に、早く・詳しい情報発信ができるようになります。

学年でつなげなければならない、基礎・基本の学力定着に向けて

子どものめあてが達成できるよう、わかりやすい授業を展開する工夫を重ねるとともに、さわやかタイム、スキルタイムを大切に、より一層の課外授業の充実を進めていきます。

学校の安全について

避難訓練（火災・地震3回）・防犯避難訓練などを実施しています。また、緊急時に対応できるように町別一斉下校を年数回実施しています。また、PTA補導委員の皆さんの協力を得て、子どもたちと下校する際、安全（交通・防犯）チェックを実施しています。

「集団登校をしてはどうか」というご意見（1名）をいただきました。本校も以前に集団登校をしていた時期があります。中止になった理由として、校区の交通事情（国道など幹線道路があり、交通量が多い。）安全に集合できる場所の確保が難しい。各家庭の朝の生活時間（ライフスタイル）の違いにより、集合時間に全員そろうことが難しい。町により学年のばらつきが生じている。集合場所における保護者の役割負担の問題など様々な課題が生まれ、「なくしてほしい」「近所で誘い合って登校の方が安全で適切だ」という保護者の声で中止になりました。その後「集団登校をしては」ということで数回PTAの会合で話し合ってきましたが、現状の方が適切という意見が占めています。全市的にみて、約半数の学校が集団登校していますが、半数の学校は、校区ごとの課題があり集団登校は実施されていません。（平成16年調査）また、集団登校には、町別による集団登校と近所の複数児童による登校があります。本校では、近所の複数児童による登校を進めています。

よりよい方向を保護者の皆さんと考えていきたいと考えています。

読書習慣について

心を育てる肥やしになる読書、素晴らしい本との出会いを大切に考えています。朝の「さわやかタイム」や、図書委員会の取組、読書ボランティアの保護者の方々の活動、また読書ノートや音読カードなど色々な方法で子どもたちが本に親しめるように考えています。図書室にある書籍が、バーコード化によるコンピュータ管理になりました。ご家庭でも、テレビを見ない日をつくって、子どもと一緒にゆっくりゆったり本を読む時間を考えてください。

この激動する社会、さまざまな教育感や価値観が交錯する中、様々な考えがありますが、お互いの情報交換を密にし、子どもたちの健やかな育ちを目指していきたいと思っています。いただきましたアンケートより「---PTAの方々の意識を高め、ともすれば学校批判になりがちなベクトルを学校、PTA、児童三者が同じ方向に向けるように努力するというのはどうでしょうか。---」というご意見もありました。いただいたアンケートの結果を大切にしながら学校・家庭・地域の連携を図りながら教育実践を積み上げていきます。今後ともご支援ご協力をお願いします。